

目次

はじめに	I
略語表	V
<hr/>	
文章論・語法 271 則	1
<hr/>	
語順	3
繫辞	5
冠詞はない	8
数	9
一致	11
人称代名詞	13
家族・子孫	15
敬称	16
指示代名詞	17
sva- と ātman- [再帰代名詞の働き]	20
疑問代名詞と不定代名詞	21
所有代名詞	23
形容詞・副詞	24
比較・最上級	28
語の重複	31
数詞	34
主格 (<i>nom.</i>) と対格 (<i>acc.</i>)	35
具格 (<i>ins.</i>)	43
為格 (<i>dat.</i>)	52
奪格 (<i>abl.</i>)	56
属格 (<i>gen.</i>)	62
処格 (<i>loc.</i>)	70
使役・強意・意欲動詞	78

動詞の態	80
現在	83
過去・完了・アオリスト	85
過去と過去完了の表現	87
未来	89
未来分詞	91
現在分詞	92
過去受動分詞	94
分詞の用法	97
絶対構文	101
未来受動分詞	104
絶対詞	106
不定詞	109
命令法	115
サンスクリット語の法 (mood)	119
願望法 (および祈願法, 条件法など)	120
接続詞	124
関係代名詞	127
yathā, yadā, yāvat	133
yatra	138
yadi と cet	139
条件文	142
iti	144
造語接尾辞 80	147

例文語句解説155

サンスクリット語の比較シンタクス ...303

I 名詞の格組織	305
1 絶対構文	305
2 時を示す格	307
3 格の統合	309

4 形容詞の格支配	310
5 格の機能併合	311
6 本来の <i>dat.</i> 機能	312
1 「〜に与える」, 「示す」, 「語る」, 「約束する」などの帰属用法	313
2 目的(地), 目標を示す <i>dat.</i>	315
3 動詞の目的語としての <i>dat.</i>	316
4 関心・利害の <i>dat.</i>	318
7 具格 (<i>ins.</i>) への機能併合	318
1 帰属の具格 (<i>ins.</i>)	318
2 帰着の具格 (<i>ins.</i>)	319
3 関心・利害の具格 (<i>ins.</i>)	319
4 所有の具格 (<i>ins.</i>)	320
5 行為者の具格 (<i>ins.</i>)	320
6 同等・類似の具格 (<i>ins.</i>)	320
7 観点の具格 (<i>ins.</i>)	321
8 ロシア語の造格 (<i>ins.</i>)	321
9 ラテン語の奪格 (<i>abl.</i>)	322
10 本来の具格 (<i>ins.</i>) 機能	323
1 随伴	323
2 手段	324
3 素材	325
4 様態	325
5 差異の程度	326
6 理由	327
7 価格	327
8 経過時間	328
9 通過場所	329
11 格の統合と機能併合の概要	330
12 ギリシア語の <i>gen.</i> への機能移行	331
1 <i>dat.</i> から <i>gen.</i> へ	331
2 <i>abl.</i> から <i>gen.</i> へ	332
13 本来の奪格 (<i>abl.</i>) 機能	332
1 出発点	333
2 源泉・由来	333
3 素材	334

4	原因・理由・動機	334
5	離脱	334
6	差異	335
II	動詞組織	336
1	テンスかアスペクトか	336
2	サンスクリット語動詞組織の盛衰	337
3	能動態と反射態	339
4	現在系	343
5	現在系の用法	343
1	継続・反復・習慣および直前・未来の行為	343
2	sma を伴う歴史的現在	344
3	sma を伴う継続と過去	345
4	purā を伴う継続と過去	345
5	未完了過去	346
6	完了系	346
7	複合完了	349
8	アオリスト系	350
9	未来系	352
10	複合未来	354
11	古典ギリシア語の動詞組織	354
12	ラテン語の動詞組織	356
13	ロシア語の動詞組織	357
14	分詞の定動詞機能	358
<hr/>		
	単語集	361
<hr/>		
	索引	413
<hr/>		
	文法事項索引	415
	語法・語句索引	437
	和文	437
	サンスクリット語	447